

平成20年度

中学生のための景観教室

実施報告書



実施協力校: 宮崎市立高岡中学校
宮崎市都市整備部景観課



はじめに

宮崎市では、まちづくりに関する重点政策として「美しい自然と情景につまれた九州一の景観都市」づくりを掲げ、積極的に景観行政に取り組み、様々な施策を実施しております。

「景観」とは、海、山、川などの自然環境や建築物、道路など目に映るまちの姿だけではなく、まちの雰囲気や文化的・歴史的ななかりなど私たちがそこから感じ取る印象までも含めた幅広いものです。つまり、私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すものといえます。

私たちの住む宮崎市には、緑豊かな山々や美しい海岸線、滔々（水が広くみなぎり、勢いよく、盛んに流れて行くさま）と流れる大淀川などの恵まれた自然が多く残されています。それらを活かしながら、文化の香り豊かな快適な市民生活が営めるように、自然環境と都市空間をバランスよく配置し、市民が共有できる良好な景観を有するまちを創っていく必要があります。

美しい景観は自然に生まれるものではなく、市民や事業者、そして行政の日頃からの意識と努力の積み重ねによって作りあげられていくものであり、市民一人ひとりの「景観」に対する関心や意識の向上を図ることが必要です。なかでも、将来の景観づくりの担い手である子供たちに対する景観教育は大変重要なものとなります。

このため、本市では、平成14年度から景観に対する関心を高め、また、景観づくりへの意識の向上を図るため、「中学生のための景観教室」を先生方と協力しながら実施しています。

目 次

◆第1章 景観教室の概要	・・・P 1
◆第2章 STAGE 1 景観教室の進め方	・・・P 3
◆第3章 STAGE 2 まちづくりに関する学習	・・・P 6
◆第4章 STAGE 3 まちなみ観察・調査研究	・・・P 13
◆第5章 STAGE 4 まちなみ模型づくり	・・・P 23
◆第6章 STAGE 5 景観教室を振り返って	・・・P 28
◆あしがき	・・・P 32



◆第1章 景観教室の概要◆

1 実施目的

「景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果として創り出されるものであり、良好な景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する知識や認識を深めることが重要です。

市では、このような市民の意識を醸成すべく、道路や河川などに地域の方々と協働して花を植えたり、また、景観シンポジウムや講演会といった各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めています。

景観教室は、「景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の景観形成の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図るものです。

2 実施期間

平成20年5月 ～ 平成21年3月

3 実施協力校

宮崎市立高岡中学校（鈴木 修也 校長）

4 実施科目

2年社会科選択（担当 海江田 秀一 教諭）

生徒22名

5 実施項目

- STAGE 1 景観教室の進め方（オリエンテーション）
景観教室の内容、スケジュール等の説明
- STAGE 2 まちづくりに関する学習
景観からのまちづくりについて
- STAGE 3 まちなみ観察・調査研究
夏休みの自主研究、調査研究内容の発表
- STAGE 4 まちなみ模型づくり
各班でテーマを決めて、まちなみ模型を作製
- STAGE 5 景観教室学習を振り返って

6 実施概要

—時間別実施状況—



◆第2章 景観教室の進め方 (STAGE1)◆

1 時間目 ▶ーオリエンテーションー

景観教室で学習する内容や、実施スケジュール等について、実施要領をもとに説明を行いました。

また、景観教室について疑問に思うことなどを出してもらいました。



景観教室は次のようなスケジュールで実施します。
皆さん頑張ってください。

■オリエンテーション

- ・「景観教室」の進め方、スケジュール等について



■まちづくりに関する学習

- ・景観からのまちづくりについて



■夏休みの課題（まちなみ観察・調査）

- ・生徒一人につき1個レンズ付きフィルムを配付します。
- ・修学旅行先（福岡、長崎、老岐）や学校、自宅周辺のほか、夏休み中の旅行先などで、気に入った風景やまちなみなどを写真に撮り、撮影場所、感想などをメモしておきます。



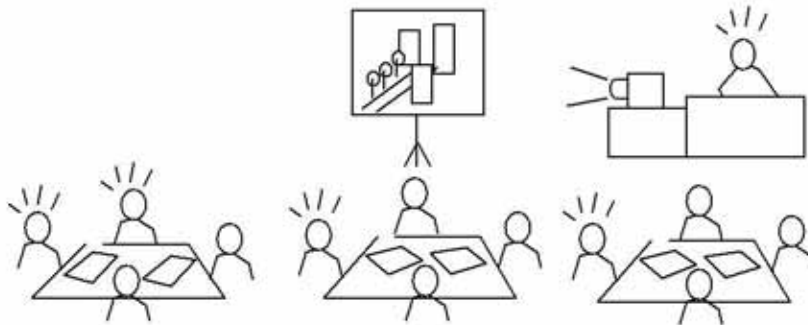
■ まちなみ観察・調査のまとめ

- ・ 修学旅行時や夏休みに撮った、気に入った風景やまちなみなどの写真を各グループで整理し発表用のレポートをまとめる。



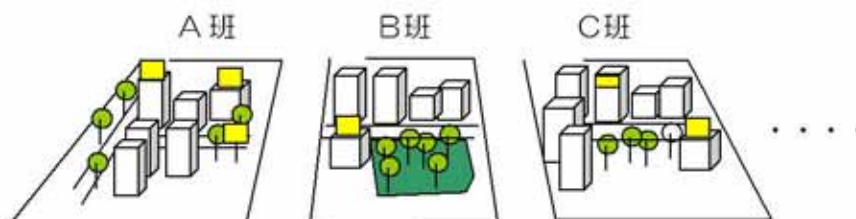
■ まちなみ観察・調査の発表

- ・ 各グループでまとめた、まちなみの調査結果を発表



■ 実習コーナー（模型づくり）

- ・ テーマに沿って、調査した景観事例をもとに、景観要素と考えられるパーツを作り、各班がまちなみの模型をつくります。
- ・ 個別パーツによりどのように変化するか学習します。
- ・ 各班の模型を繋ぎ合わせ、まちなみを認識させるようにします。



■ 景観教室のまとめ

- ・ 景観教室のまとめを行います（調査、実習内容のまとめ）。
- ・ 実施報告書（小冊子）に載せる各人の感想その他の内容を検討します。

※ 模型づくりを終えた時点で、まちづくりについてもっと詳しく勉強したい事項や疑問などがある場合には、特別（追加）授業を行います。
（例）緑のまちづくりについて・・・など

景観教室の実施内容については、

- ・ 小冊子にまとめ、参加生徒に配付します。
- ・ 今後の学校教育との連携を図るため、市内の各中学校に配布します。
- ・ その他、景観形成に関する各種団体（国土交通省など）にも配布します。
- ・ 実施内容を、市のホームページに掲載します。



◆第3章 まちづくりに関する学習 (STAGE2)◆

2～6時間目 → 一景観とまちづくりについて←

■「景観」とは？

- ①海、山、川などの自然や、建物、道路など、私たちが目にするまちの姿
- ②まちの雰囲気や文化的・歴史的ななかりなどの印象



Check 私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すもの。

■景観を構成するもの

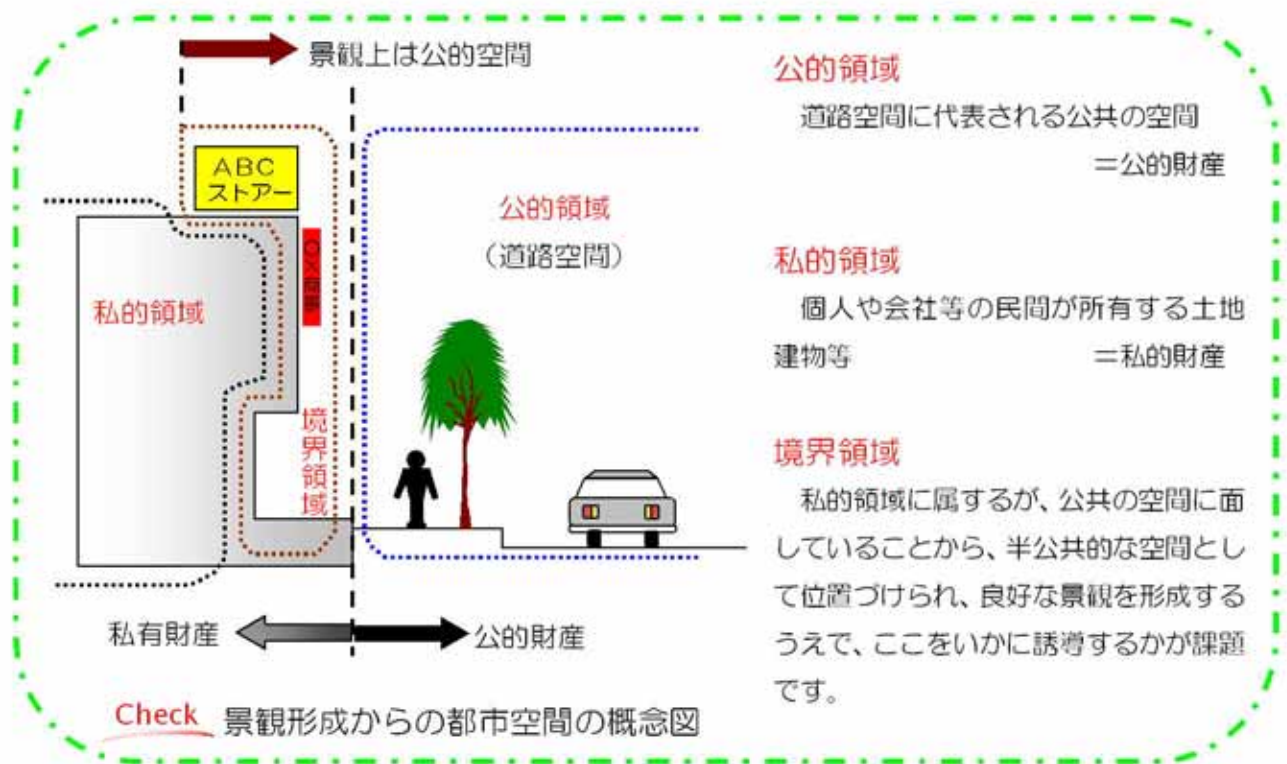
道路や建物をはじめ、街路樹、橋、広告物、公園、背景となる山並みなど、わたしたちがまちを眺める時に目に入る様々なものが景観をつくっています。



Check 景観を構成しているもの

■景観はどこまでが範囲なのか？

景観形成の観点から、都市の空間を考えてみたとき、重要なポイントとして次の三つの空間構成があります。



Check 景観形成からの都市空間の概念図



■なぜ、景観を考えることが重要になってきたのか？

①経済性、機能性が最優先

- ・技術的な面にしか配慮されなかったこと。
- ・きまりの範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・歴史的価値を考えずに開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然破壊や公害など様々な問題があらわれました。

②法制度の未整備

建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確なきまり（法令）が存在しませんでした。現在は、平成16年6月に景観法が作られています。

③デザイン基準づくりの遅れ

「質」で判断されるデザインの明確な基準づくりが難しく、市民や事業者、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもと、どこに行っても同じようなまち並みが出現するなかで、歴史的なまち並みや自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

■景観行政の流れ

①歴史的景観の保存から

歴史を無視して進められる建築や開発に対する批判が起こり、歴史的まち並み保存や保全を求める動きに発展し、その制度づくり（条例・要綱）へと展開していくこととなります（京都市、金沢市など）。



②都市景観（デザイン）づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取り組みが都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます（横浜市・神戸市）。

■先駆的な都市景観（横浜市 1965年頃～）

「まちのデザイン（景観）を継続的にコントロールする」というイメージのもと（アーバンデザイン行政）、都市空間の質的向上をめざして各種のプロジェクトを展開していきました。

- ・馬車道、イセザキモールなどの商店街の再生
- ・重要地区のデザインガイドの策定
（山下公園周辺、日本大通り地区、みなとみらい21地区）
- ・歴史的建造物の保存など

■宮崎市の景観行政

本市では、平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、様々な景観施策に取り組んできました。

その後、社会情勢の変化から景観に対する意識が全国的に高まり、平成16年に景観法が制定されたのに伴い、景観法に基づく「宮崎市景観計画」を平成19年10月に策定しました。平成20年1月には、これまでの「宮崎市都市景観条例」を改正した「宮崎市景観条例」を施行し、具体的な景観施策に取り組んでいます。

①景観計画の区域

「宮崎市景観計画」では、宮崎市域全体を対象区域とし、その中でも、景観の形成上特に重要な4つの地区を、「重点景観形成地区」として位置付けています。

なお、大淀川に面した区域を新たに「大淀川地区重点景観形成地区」として指定すべく、現在手続き等を行っているところです。

重点景観形成地区 (4地区)	●橋公園通り地区	●高千穂通り地区
	●一ツ葉リゾート地区	●日南海岸地区



（一ツ葉リゾート地区）



（橋公園通り地区）



②景観形成の方針

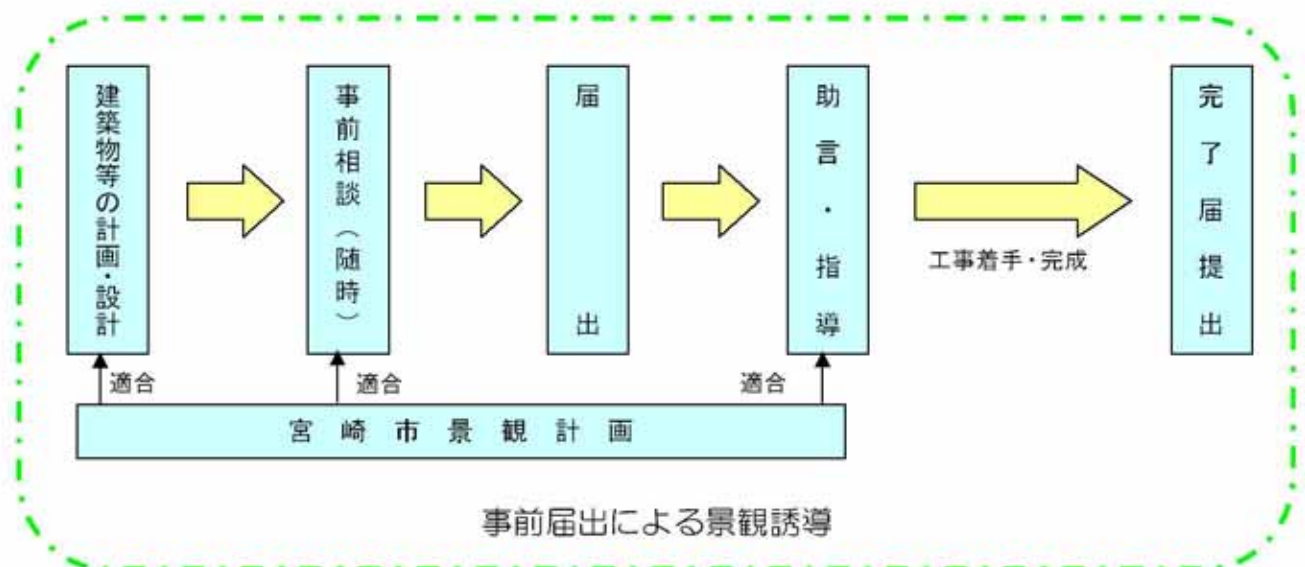
「宮崎市景観計画」において、“豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき”を景観形成のための基本理念とし、本市が目指すべき景観のイメージとなる4つの目標を定め、これらの実現に向け、6つの基本方針を示しています。

重点景観形成地区については、市域全体の景観形成に関する方針に加え、地区ごとの整備方針を示しています。

③各種行為の事前届出制度

良好な景観を保全・創出するため、本市において一定規模以上の建物の新築や広告物の設置、景観に影響を与える行為を行う場合には、「宮崎市景観条例」に基づき、事前に届け出る必要があります。

事前に届け出てもらうことで、建築行為や広告物の表示等を行うに際して、景観上どのように配慮したか、その内容についてあらかじめ確認し、必要であれば、アドバイスを行います。



④市民意識の高揚

景観条例に基づく届出（協議）制度は、民間（個人又は事業者）を対象としておりますが、建物のデザインや色彩をコントロールしようにも、建築の自由、表現の自由に関わる問題があり、行政指導による景観誘導にも限界があります。

そこで、市民一人ひとりの景観に対する意識を高めることが重要になっています。



Check 景観に対する市民意識の高揚

- ・宮崎市都市景観賞（平成4年度～）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・景観教室（平成14年度～）
- ・景観海外（シンガポール）派遣研修（平成17年度～）
- ・花のまちづくりコンクール（平成7年度～）

■景観形成の手法について

景観の形成手法（より良い景観づくりのための手法）について日本や海外の景観形成の事例写真等を使い勉強しました。

紹介事例：電線類の地中化、公共空間の緑化、広告物の色彩反転、建物の色彩や高さの統一 など…

■景観課長の話

美しい国づくり政策大綱について説明を行い、その後「景観に対する気づき」についての話がありました。



Check



（表紙）



【授業で使用した資料：宮崎市の景観まちづくり市民啓発用パンフレット（H18年度作成）】

■ 景観クイズ

市内にある景観資源を楽しみながら知ってもらうために、班毎に景観資源のカードを渡し名称と場所を当てるゲームを行いました。

<準備するもの>

- ・景観資源カード
- ・宮崎市の全図
- ・カラーペン

何の写真
かな？



あそこかな？

あそこだよ！



分かんね



9時間目

ーラッピングバスとアイビー大作戦ー

■ラッピングバスについて

ラッピングバスとは、バスの車体を利用した面積の大きな広告で、市内を走り回るため、様々な人たちの目に入り、広告効果が大きく、景観に与える影響が大きい。



Check 宮崎の景観に調和したデザインへの誘導が必要。

色彩やデザインの専門家4名で構成される、宮崎市バス広告デザイン検討委員会において、景観に調和した好ましいデザインとなるよう助言・指導を行っています。

好ましいバスデザインとは？

- ・イメージを主体としている
- ・文字が少ない
- ・多くの色、派手な色を使っていない
- ・同じキャラクターを多数配置しない
- ・全ての人が見て、楽しい



■アイビー大作戦について

公共施設（建築物や土木構造物）の壁面や屋上等を、アイビー等のツル性植物で覆い、緑化することで、市民が「壁面緑化」及び「屋上緑化」を行う際のモデルとなるような緑化施設づくりを行います。

アイビー大作戦に期待される効果

- ・潤いや安らぎ感の向上
- ・景観効果
- ・大気の浄化作用
- ・ヒートアイランド現象の緩和効果
- ・熱の照り返し防止および省エネ効果



Check ところで、アイビーとは？

わが国の山野に自生するフユツタの仲間で、欧米から移入されたものを西洋キツタ（イングリッシュアイビー）と呼びます。

代表的な品種として、ヘデラ・ヘリックス、ヘデラヘリックスグレーシャー、ヘデラカナリエンス等があります。



◆第4章 まちなみ観察・調査研究 (STAGE 3)◆

7～8時間目

—事前学習—

まちなみ観察を行い、写真を撮影する際の注意事項等について説明しました。また、修学旅行先の福岡や長崎、壱岐の景観について事前学習を行いました。

また、実際に教室の外に出て学校の敷地内で写真を撮ってみました。



夏休み等の活動

—まちなみ観察・調査—

夏休みを利用して、家族で旅行に行った場所や実際に自分達の住んでいるまちを徒歩又は自転車で観察し、まちなみの良いところや気になるところなどを自由にカメラで撮影することにしました。

また、今回は修学旅行に行くということもあり、修学旅行先（福岡、長崎、壱岐）のまちなみの様子も撮影し、自分のまちと比較してみることにしました。

Check まちなみ観察レポートの作成

各自できあがった写真を整理して、まちなみ観察レポートにまとめておきます。



レンズ付きフィルムを生徒に一個ずつ準備しました。



フィルムの現像等については景観課で行いました。



10～14時間目

—まちなみ観察・調査まとめ—

4班に分かれて、各自が撮影した写真をそれぞれ模造紙に貼り付け、先生や市職員のアドバイスを受けながら各班でまちなみ観察の調査結果をまとめてもらいました。

(まちなみ観察・調査のとりまとめの様子)



この写真
いいじゃん

どの写真
がいい？



発表
練習中！



本当にこれで
いいのか？

■シンガポールの景観について

まちなみ観察・調査の模範事例として、景観海外派遣研修でシンガポールへ行った市職員に、シンガポールと宮崎のまちなみについて模造紙にまとめてもらい、発表をしてもらいました。

シンガポール
はここです！



15時間目

—まちなみ観察の調査結果発表—

今回は、修学旅行先と宮崎を比較してまちなみ観察の調査結果をまとめたので、以下の点について発表を行いました。

- ・宮崎のよい景観、悪い景観
- ・修学旅行先でみつけた良い景観、悪い景観
- ・修学旅行先と宮崎を比較して
- ・まちなみ観察を振り返って

1班



2班



3班



4班

どの班も、宮崎や長崎の景観について、いろいろな視点でよくまとめていました。

※ 詳細な調査結果は、16～22ページをご覧ください。

■ 1 班

1班

長崎

田上 瞬 川平 亮 星崎 翔吾
山元 聖仁 松元 鼓哲

黄色…良い景観
赤…悪い景観



のどかな風景



おもしろいたてものが並んでいる。



人ごみ建物が多い
(青い+)



周りの色にあてない
はて (壁画、倉庫?)



ゴルフセンターがある



橋がいろいろ思える



ビルが都庁らしさを表している



看板がある



明瞭におかしい
ピンが合っていない



赤い屋根がきれい



ふせーがある



中国らしさを感じた
チンチンマンの看板



看板がたくさんある。



建物が古い
高さがあってない



家の色と景色見か
あてていない。

宮崎



にぎやかな街並み



坂の屋根がある



古いビルが多い
看板がある

感想 長崎は観光などのために
きれいに整備されていた。

■ 2 班 (1枚目)

2班

メンバー
 福外益川竹
 山元子中
 大優宏
 勝作彰晃基

富山奇



緑化が
 結構いい。



眺めた物が
 ない景観!!



緑がとっても
 田舎っぽくて!



家の色が1/3
 一緒にいい。



森の中に3D遊理場
 X



ハコ屋の色が
 緑が家観を
 悪くしている



家の高さ純一



山とけしさが
 すごい



建物の高さ純一



赤い
 山だめすぎ



いか緑で
 おおむね



緑がたかさんある



緑がぬい
 田舎っぽいい

感想

高岡は家の高さも
 だいたいそろって
 いるし近くに木な
 いうえてるからど
 てもいい。
 やば富山は最高です。

■ 2 班 (2枚目)

2班 長崎



感想 長崎は建物が多いやと高さがあって
いい。でも赤い家などがとても目立っている。

■ 3 班 (1枚目)

3 班

長谷 彦也 小屋松 直和

水流 勇大 星崎 修成

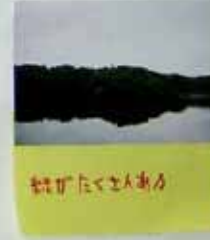
栗澤 慎

宮崎の景観!

悪い

緑が多い所
が良い

良い



■ 3 班 (2枚目)

3 班

長崎の景観

悪い

良い



お好み焼きの看板が
お好み焼きの看板が
いい色に見える



お好み焼きの色が
お好み焼きの色が
いい色に見える



像と周りの
言調和がとれている



海がきれい
透明度が高い



看板の色がバラバラ
板



横がいろいろあって
見苦しい。



緑がたくさんあって
きれい



お好み焼きの看板
お好み焼きの看板



お好み焼きの看板が
お好み焼きの看板が
いい色に見える



お好み焼きの看板が
お好み焼きの看板が
いい色に見える



海と山と水が
お好み焼きの看板



空気がきれい
お好み焼きの看板

感想

この景観教室で自分の身の周りにこんな良い景観、悪い景観があることがゆか、て楽しか。大

3 班全員

■ 4 班 (1枚目)

4

班

名前

♥ 井手 ● 金丸 ● 川添
 ♥ 川野 ● 谷 ● 満富 ●
 ♥ 安井

MIYAZAKI

◇ 良い景観 ◇

× 悪い景観 ×



緑がなくていい



建物の周りに、緑がある



緑がさえない



電線がごちゃごちゃ、緑が少ないい



同じ色でいい



看板の色が派手すぎ、周りに建物に合わせた色でいい



建物の色が派手、周りにあわせて色を揃えていい



同じ色を揃えていい、色を揃えていい



看板の色が派手、周りに合わせた色でいい



はたが汚い



看板の色が派手、周りに合わせた色でいい



軒だけ同じ色でいい



広告が汚い



看板が多すぎる



看板の色が派手、周りに合わせた色でいい



看板が大きい



看板の色が派手、周りに合わせた色でいい

まとめ!!
 宮崎は全体的に
 プールしすぎです*

■ 4 班 (2枚目)

NAGASAKI

● 良い景観 ●

× 悪い景観 ×



山が美しい!!



家やビル屋が多い。
町並みが見えないと
おもしろい。



電線が多い。



木造家屋が多くて
目立ちやすい。



海と山がきれいで
おもしろい。



緑が多い。



おもしろい建物が多い。



電線が多い。



電線が多くて
ごちゃごちゃしている。



おもしろい建物が多い。
おもしろい建物が多い。
おもしろい建物が多い。



おもしろい建物と
合っている。



くもりの日の景観
は少し悪かった。

まとめ

長崎は宮崎より緑が多く
めずらしい物がたくさんある。



◆第5章 まちなみ模型づくり (STAGE4)◆

16時間目

—模型づくりの前に—

■まちなみのイメージを共有する

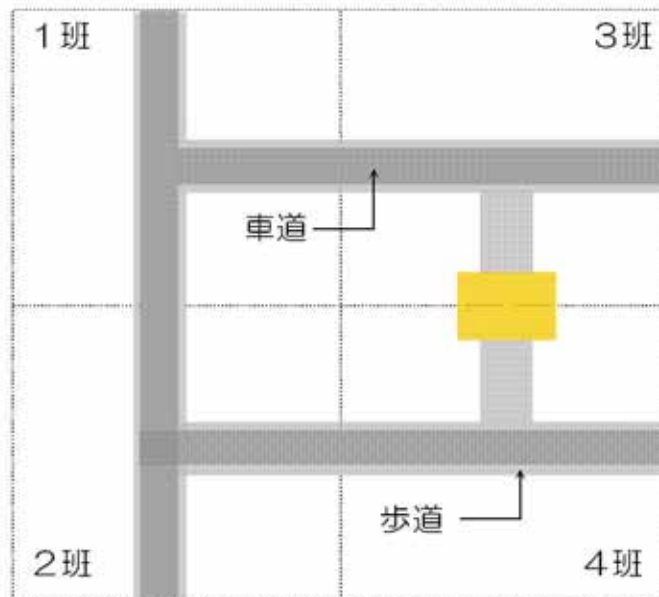
まちなみの模型は、クラスを4つの班に分け、各班1個ずつ作ることにしました。どのような「まち」を作るのか、各班で話し合って、自分たちの好きなまちを作ってもらいました。

Check まちを構成している施設など

住宅、アパート、マンション、ホテル、街路樹、ビル、デパート、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店、図書館、学校、警察署、歩道橋、橋、工場、病院、公園、まちのシンボルなど

■土台づくり（道路や敷地の区画）

メインストリートとおおまかな土地の区画線を記入した設計図をもとに土台をつくりました。なお、今回は景観課で事前に準備しました。



■建物などをつくる

スチレンボードを切り貼りして、建物などを組み立てていきます。普段の生活でカッターナイフなどをあまり使わないせいか、最初のうちはぎこちない手つきでしたが、色々な模型などを作るうちに上手になりました。





25時間目

—各班の製作した模型（模型についての発表）—

1 班から4 班までの模型がそれぞれ完成しました。どの班も個性的なまちが立派にできあがりました。



【1班】

テーマ「スポーツと夢と自然のまち」

POINT

- ・スポーツの豊かなまち
- ・自然環境の良いエコロジーなまち
- ・木々の生い茂ったGREENなまち
- ・教会もある宗教的なまち

【2班】

テーマ「団地」

POINT

- ・電線を張り、リアルにしたところ
- ・屋根の形を1つ1つ変えたところ



【3班】

テーマ「緑のまち」

POINT

- ・緑が多いところ
- ・家の高さをそろえたところ
- ・きれいな並木



【4班】

テーマ「おしゃれなまち並み♪」

POINT

- ・緑のいっぱいあるところ
- ・区別してあるまち並み
- ・公園頑張りました！





■ 模型づくりに関する感想

— 模型を作るときに気をつけたことや苦労したことは？ —

- 苦労した点は建物の展開図をきれいに描いて切ることでした。工夫した点はサッカー場のラインやサッカーゴールをコートに張ることでした。
- 砂場は本物の砂を使ったところ。
- 建物をつくる時に長さをしっかりと決めてからやったりしました。
- 苦労したところは、電線を作って本物にできるだけ近づけてつくったところです。そして、屋根の形をひとつひとつ変えたところです。
- 公園のタイヤに絵を描いてかわいくしたところ。
- 今の現実近くて、そして景観にもよくて環境にもよいすぐにも実行できるようなまち並みをイメージして作りました。
- クス並木のように木を並べた。
- 宮崎の緑をイメージしながら作りました。
- 現実的なイメージをどうやって表現しようかまよったけど、木や公園の遊具などを作ったら、現実的なまち並みになった。電線を作ったらもっとリアルになった。
- 緑をみせるため、建物の数を少なめに、広い公園などを配置しました。
- 気をつけた点は、マンションの配置や現実的な電線です。工夫した点や苦労した点は、公園の遊具や、公共物の設置です。電線はあまりきれいじゃないけど、現実的でいいと思います。
- できるだけ本物になるように、マンションの方向なども考えて作った。
- 野球場やコンビニの細かいところに気を使いながらつくり、頑張りました。

■ 模型の繋ぎ合わせ

—他の班の模型と繋ぎ合せてみた時比べてみた時の感想など—

- それぞれの特徴があって、おもしろいまち並みになりました。特に、まっすぐに並べたら、いろんな班の建物が並んで一味違うまちになりました。
- 一箇所に色んな建物が集まって、こんなまちなら住みやすそうだなと思いました。
- 1つではあまりボリュームがなかったけど、他の班とつなぎ合わせたら、すごくボリュームが出ました。
- それぞれの班のいい所が上手くまざってとてもよかったです。
- 緑にあふれたいいまちができてきれいだと思った。
- 全ての班が思い思いに作ったはずなのに、つなぎ合わせると本当に1つのまちのパノラマになっているのに感動しました。
- 明るくて色々あるまち並みになった。みんなの班の模型は、電線が地下にあった。
- 教会や公園があって、4つで1つの都市のようになっていた。
- 家の高さがバラバラで少し汚い。
- 野球場やサッカー場を作るのはいいけど、近くに教会があるのは、少し景観に悪いと思いました。他の班も、派手なのがあってあまりきれいではなかった。
- 公園と公園がつながって、とても広い公園になった。
- 一体感があってすごくまとまりのある作品が出来ました。



色々な組み合わせを試して話し合っている様子



繋ぎ合わせた模型



◆第6章 景観教室を振り返って (STAGE5)◆

26時間目 > 一景観の学習を終えて一

感想

生徒のみなさんに、景観教室を振り返って感想文を書いていただきました。全文を掲載することはできませんが、その一部（原文を抜粋）をご紹介します。

- ☹️ 景観教室で学んだことは、いろいろなまち並みがあるということです。悪い景観やいい景観など、色んなところと比較ができてよかったです。建物の高さ、色など、まちにあった景観じゃないといけないということがわかりました。
- 😊 景観教室で学んだことは、いろいろなまち並みがあって良い景観や悪い景観があることがわかりました。模型作りでは何を作るかなどが少しわからなかったけど、後から色んなものを作ることができたので、たくさんアイデアが出てきていい作品ができました。景観教室を通じていろいろなことが分かったのがよかったです。
- 😊 この景観教室をしてよかったなと思いました。僕達が一番最初にした景観は写真でまち並みを撮ることです。長崎と宮崎を撮りました。模型作りはすごく難しかったです。一つ一つ手作業なのですごく疲れました。作り終わって見たときにはすごくいい作品ができたなあとと思いました。
- 😊 修学旅行先で長崎の景観を写真に納めたりして、宮崎の景観と比べたりして発表しました。緑化の授業は皆で協力したりして、皆の意見が飛びかってとてもにぎやかに話が出来ました。まちづくりでは、皆違って皆いい作品ができて、とても普通のまちをリアルに再現したまちが出来ました。
- 😊 この景観教室でラッピングバスの授業が、おもしろかったです。見たことのあるバスや、おもしろいデザインのバスがあってとても楽しかったです。緑化の授業や名所クイズの授業もみんなで話し合ったり、考えたりしてとてもわいわい盛り上がりました。そして、最後の模型づくりが一番楽しくて、一番勉強になりました。自分のあこがれるまちを自分達で実際につくってみて、なかなか景観を考えるとこころなどがとても難しく勉強になりました。やっぱり実際に作ってみるだけでも違うんだと思いました。

- ④ 最初は景観教室が面白いかどうか分からなかったけど、やってみたらわかってきた。景観教室でならったことを思い出して宮崎に出てみたら、良い景観や悪い景観がわかってうれしかった。修学旅行で長崎に言ってまち並みを見たら、良い景観がたくさんあった。
- ④ 最初の授業ではどんなことをするのかと思ったけど、いろいろなまち並みや風景が見れてよかったです。宮崎の景観もいろいろなことがわかってよかったです。景観の政策でも、いろいろな高岡の景観がわかった。まち並み政策でもいろいろなまち並みができてよかったです。
- ④ 最初は、景観教室というのがあまりよく分からなかったけど、どんどん授業でやっていくうちに、景観ということがよく分かりました。まちなみ観察では、まちの色々なことがわかりました。バスラッピングではとても派手なのを、色々なバスラッピングがありました。緑化では色々な工夫がしてあることがよく分かりました。
- ④ 最初は、景観というものがなんなのか、なぜそんなことを考えるのかもわからないくらいでした。でも、修学旅行で行った長崎でちょっとちがった視点から見てみて景観というものをはじめて理解したような気がしました。模型づくりでは今までならったことを活かして、自分の持っている知識をあわせてものすごいものができました。これからはちょっと視点を変えて周りを見てみようと思います。
- ④ 修学旅行で長崎の写真を撮りました。長崎と宮崎を比べました。長崎はまち並みがデコボコしていて、宮崎は緑が多いとあらためて思いました。景観政策では、上空から下を見て、ビルや建物をどこに建てればいいのか分かりました。
- ④ この景観教室で、僕は自分のまちを別の視点から見る事が出来たと思います。宮崎といえば、緑が多いくらいにしか考えていませんでした。しかし、景観についての説明、まちづくりのための工夫、他のまちとの比較をしていくたびに自分のまちがこれだけ計算されてつくられているんだなと感動し、今でもその興奮を明確に思い出す。それからというもの、まちに出るたびにこの景観教室を思い出し、「ここは悪い」「ここは良い」などと思うようになりました。まちなみではシンガポールのが一番心に残っています。美しいまち並みとは、このことをいうのかと興奮しました。

- ☺ 最初は景観て何かなと思った。そして、説明があったけれどいまいち分からなかった。でもだんだんやっていく内に分かってきて、結構面白いものだと思った。模型を作った時、例で他中の作ったのを見てかなりすごいと思いました。「こんなのでできるとか」的な感じでした。実際にやってみたら難しかったけれど、自分達の個性を活かしながらとてもいい模型が出来た。この景観教室をしてまわりのまちとかを見る目が変わった気がします。
- ☺ バスラッピングでは、色んなバスを見ました。まちなみ観察では、宮崎市と長崎のまちなみを観察しました。模型づくりでは、色々考えながら作りました。建物の高さ、形、色などを考えました。僕達の班は宮崎のくす並木をイメージして作りました。道の両端を木で覆いました。
- ☺ 僕はこの景観教室を通して自分のまちをしっかりと見ることができたと思います。バスの模様もとても勉強になりました。バスの広告までにも気がついてるんだなと思いました。建物に対する決まりも初めて分かりました。景観教育で心に残ったことは模型作りです。模型づくりは、とても大変だったけど、達成感がとてもありました。この景観教室で学んだことは、景観はまちのイメージを決める大切なものということが分かりました。県外のまち並みを見れたことも、とても貴重な経験になりました。
- ☺ この景観教室を通して宮崎はこんなに景観にこだわっているんだなと思いました。普段、自分が見ている中で、別に悪い景観なんてないと思っていたけれど、この景観教室をして、こんなに悪いんだなと思いました。模型作りは、始め汚かったけど、やればどんどんきれいな家が作れて、うれしかったです。
- ☺ 景観教室を通して、私は、今住んでいるこの高岡町も、景観に気をつけていたんだなあとと思いました。景観に関する物は、私たちのまわりにたくさんあることがたくさん分かりました。これからは、この景観教室で習ったところを、いろんなまちに行った時に思い出し、景観が悪いなあとか、景観がいいなと思いつながらまちを見たいと思いました。
- ☺ 今回私は景観教室を通して、まちには電線や看板がたくさんあって邪魔なんだなあとと思いました。ビルなどの高さなども、それぞれ一定になるようにしたり、まち並みがきれいに見えるようにたくさんの工夫がしてあってすごかったです。模型作りでは、おしゃれなまち並みということで、色を

つけたり、公園の遊具などをカラフルにしたところとかもがんばりました。それぞれの班の模型をくっつけた時は、色々なまち並みが見れて、班の個性も出ていてとてもよかったです。

- 😊 景観教室を通して、まちづくりの工夫が分かりました。バスなども景観のことを考えて作られているなんて、考えてなかったので、聞いた時はビックリしました。模型作りでは、何もかもほとんど初めてだったので、どうしようか色々迷ったけど、作っていくうちにだんだんと慣れてきて、建物の設定とか楽しかったです。公園を作ったのが一番大変だったけど、一番楽しかったです。遊具が完成した時は嬉しかった！！。他の班と繋げた時は、自分のまちもこんなまちならいいのになと思いました。
- 😊 今回私は、景観教室を通して、まちにある電線は邪魔だなと思いました。でも、緑がたくさんある部分はとてもいいことだなと思いました。今回のことで、私は非常にまち並みを気にするようになりました。あと、模型づくりはとても大変でした。私たちの班は、まちをおしゃれにするというテーマで作りました。私は公園を作りました。最後の他の班の模型を合わせた時は、本当のまち並みみたいでとてもすごかったです。
- 😊 最初初めて景観教室をした時、「景観って??」という疑問でいっぱいでした。宮崎と他の県を比べてみると、宮崎は悪い所いい所もたくさんあることが分かりました。私は、この景観教室に参加して学んだことが2つあります。1つ目は、普段は道を歩いているけど、何も思わなかったことが、景観教室に参加して、「派手だなあ」など、思うようになりました。そして、2つ目は、景観を考えることは難しいということです。
- 😊 建物の高さや色、建てる場所などにも決まりがあってとてもびっくりしました。模型作りの最初はめんどくさいなと思ってたけど、やってみると楽しかったです。班の皆と話し合っってここに何を置いたらおしゃれに見えるか、ここにこれを置いたら汚くなるなど皆で話し合いながら作っていきましました。私はこの景観教室でたくさん、色んなことを知りました。
- 😊 まちづくりを作る時に、班の皆で計画を立ててその思い通りにおしゃれなまちが作れたので、良かったと思いました。細かいところ、公園を作るのに砂をつかったことで、どんどんおしゃれなまち並みができ、とてもすごかったです。最初イメージしていた時と全然違って、他の班と合わせてみたら、とても面白い街でした。

あとがき

平成14年度から始めたこの「景観教室」も今年で7年目となります。生徒たちに、少しでも景観に対する興味や関心を持ってもらえるように、国内外を問わず具体の事例写真やまちづくりに関する話題をたくさんとりあげて説明してきました。

どの生徒も、はじめは「景観」と言われてもその漢字や言葉の意味さえ分からない様子でしたが、景観まちづくりに関する授業や修学旅行先の景観と自分たちのまちの景観を比較したまちなみ観察調査、まちなみ模型づくりなどを通して、生徒たちの中から「この景観はあまりよくないな」とか「もう少し緑を増やした方がいい」といった声が聞かれるようになり、緑の大切さや景観に対する関心や意識の向上が図られたと思います。

また、感想文を読んでも多くの生徒が、景観教室の授業を受けてよかった、楽しく景観について学べたなどの感想を書いてくれ、改めて景観教室の大切さや一年間教えてきたことの喜びを感じました。

この学習がきっかけとなり、将来宮崎の景観づくりに関わる人材が出てくることを大いに期待しています。

最後に、実施にあたり、ご指導、ご協力をいただいた宮崎市立高岡中学校の先生方や楽しい雰囲気の中で授業に臨んでいただいた生徒のみなさんに対し厚くお礼申し上げます。



景観教室に参加された生徒のみなさん

- 人にやさしい宮崎
- 思いやりの心にみちた豊かな宮崎
- 自然と環境を守り、スポーツと文化に親しめる宮崎

平成21年3月発行 宮崎市都市整備部景観課
〒880-8505 宮崎市橋通西1-1-1
TEL : 0985(21)1817 / FAX : 0985(26)3520
URL : <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/keikan/>



宮崎市